

12/21 <講演会>デジタル戦略を絡めた新聞の進むべく道
(産経新聞×産業研究所連続講演会「関西の地域振興と国際化」第5回(全5回)報告

2018年12月21日(金)に産経新聞社取締役の鳥居洋介氏をお招きして、産研講演会「デジタル戦略を絡めた新聞の進むべく道」を開催いたしました。

ニュースをスマホでチェックすることが普通になり、誰もがSNSをとおして容易に情報発信できる今、新聞は発行部数の減少が止まらず、新聞社もニュースのネット配信に大きくシフトする必要に迫られています。産経新聞社のデジタル部門のトップである鳥居取締役は、今後紙の新聞の発行部数は減り(5年で半分以下の発行部数に)、デジタルニュースへのシフトが進むが、これまで無料で配信されることが多かったデジタルニュースも、今は価値あるニュースは無料で流されなくなりつつあり、有料でニュースを購読するサブスクリプションモデルが主流になってきている(広告モデルから購読料モデルにシフト)と、海外の事例なども紹介しながら、解説されました。また、学生にとって新聞を読むことにはどういう意味があるのかについて、NIE(Newspaper in Education)の活動にも触れながら、AIなどにはない読解力を身に着けるには、新聞を読むことが最も近道である、と力説され、会場の学生に「新聞をしっかり読んで、就職戦線を勝ち抜いてほしい」とのメッセージを送られました。

(この講演会は経済学部開講「経済事情F(担当教員:高林喜久生教授)」の一環として開催いたしました。)

■参加者:72名



鳥居洋介取締役